

2025.8.15

No.191

たなぐら 議会だより



2
ページ

定例会6月会議

17
ページ

5月第1回会議
6月第1回会議

7
ページ

町政を問う
一般質問

18
ページ

議会モニター
言わせて一言



もくじ

表紙写真
中学校ホッケー部
男女とも全国大会へ!!

国保税率

		令和6年度	令和7年度	比較
医療分 ※1	所得割	5.65%	5.76%	0.11%
	均等割	19,500円	22,900円	3,400円
	平等割	12,600円	14,600円	2,000円
	限度額	650,000円	660,000円	10,000円
後期高齢者支援金分 ※2	所得割	2.70%	2.76%	0.06%
	均等割	9,300円	11,000円	1,700円
	平等割	6,000円	7,000円	1,000円
	限度額	240,000円	260,000円	20,000円
介護分 ※3	所得割	1.87%	2.17%	0.30%
	均等割	9,000円	10,700円	1,700円
	平等割	4,300円	5,100円	800円
	限度額	170,000円	170,000円	0円

年間平均保険税

		令和6年度	令和7年度	比較
医療分	1世帯あたり	68,869円	82,330円	13,461円
	1人あたり	45,921円	55,469円	9,548円
後期高齢者支援金分	1世帯あたり	32,432円	38,973円	6,541円
	1人あたり	21,625円	26,258円	4,633円
介護分	1世帯あたり	23,780円	28,394円	4,614円
	1人あたり	21,358円	25,563円	4,205円
合計額	1世帯あたり	125,081円	149,697円	24,616円
	1人あたり	88,904円	107,290円	18,386円

【用語解説】

- ※1 医療分 ➡ 主に医療給付などに充てられるための保険税
- ※2 後期高齢者支援金分 ➡ 75歳以上の後期高齢者医療制度を支援するための保険税
- ※3 介護分 ➡ 被保険者の40歳から65歳未満に課税される保険税



定例会6月会議は、6月11日から13日の3日間の会議日程で開催されました。
会議では、補正予算や条例の一部改正の議案などを慎重に審議し、賛成多数ですべて原案のとおり可決されました。

国民健康保険税が改正されました

主な改正内容

- (1) 地方税法施行令の改正に伴い、医療費分の課税限度額を65万円から66万円に、後期高齢者支援金等分の課税限度額を24万円から26万円に引き上げ。
- (2) 低所得者に対し軽減する所得判定について、被保険者数に乗ずる額を5割軽減基準については29万5千円から30万5千円に、2割軽減基準については54万5千円から56万円に引き上げ。
- (3) 前年分所得の確定に伴い、応能・応益によって負担する所得割等の国民健康保険税率の改正並びに低所得者の軽減措置対象者の応益分税額を改正。

国保条例等 討論の末に可決

棚倉町国民健康保険条例の一部を改正する条例及び棚倉町国民健康保険特別会計補正予算の原案をめぐり、討論が行われました。松本トク子議員より、原案について基金の取り崩し等が不十分であるとの反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。



採決の様子

条例の一部改正

◆棚倉町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例
令和7年度末で高野小学校を廃止とするための改正。

補正予算

◆一般会計

1億284万円増額

◎議場映像音響制御録画
配信システム導入事業費 2,807万円
議場内音響設備の更新及び議会の様子をインターネットによる録画配信を行うための整備費用。

◎コミュニティ助成事業費 220万円
第二行政自治会のコミュニティ活動に要する設備整備費の助成金。

◎物価高騰対応重点
支援給付金事業費 5,086万円
令和6年度に実施した定額減税の不足額給付費の増額。

◎歴史的風致維持向上計画推進費 546万円
棚倉城跡観光拠点施設基本設計委託に要する費用。

◆国民健康保険特別会計

764万円増額

歳入は国民健康保険税の本算定に伴う、国民健康保険税及び繰越金などの増額補正、歳出は事業費納付金等の増額補正。

■6月補正後の予算額

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億284万円	82億2,934万円
国民健康保険特別会計	764万円	12億4,364万円

(1万円未満切捨て)

令和6年度へ 5件の事業を繰越し

令和6年度内に完了することが出来ない事業について、令和7年度へ繰越して実施する事業の内容が報告されました。

契約の締結

◆街なみ環境整備事業
磐城棚倉近津線歩道整備工事請負契約締結

歴史的建造物と調和した景観形成を目的に歩道の美装化をすることも、老朽化した町堀の機能や安全性を確保するための工事。
○契約金額 9,130万円
○契約の相手方
棚倉町大字棚倉字清戸作43番地2
株式会社 藤田組
代表取締役 藤田 栄作

■令和6年度繰越し事業

■一般会計		
民生費	住民税非課税世帯支援臨時給付事業費	4,505万円
商工費	物価高騰対応生活者支援対策事業費	5,829万円
消防費	防災対策費	1,422万円

(1万円未満切捨て)

◆街なみ環境整備事業

古町城跡1号線外舗装改修工事請負契約締結

地域住民等の周遊性向上や歴史的建造物と調和した景観形成を目的に、車道及び歩道の舗装を改修するための工事。
○契約金額 4,837万円
○契約の相手方
棚倉町大字棚倉字町裏35番地15
株式会社 神林建設棚倉営業所
所長 石井 博行



大ケヤキ南側から郵便局前のT字路の区間

◆防災行政デジタル無線通信設備改修工事請負契約締結

既設操作卓の老朽化に伴い通信設備を更新するため。
○契約金額 8,250万円
○契約の相手方
矢吹町字北町183番地1
株式会社浦島通信
代表取締役 佐藤 茂



耐用年数が経過した操作卓

◆棚倉城跡石垣解体工事請負契約締結

東日本大震災及び福島県沖地震で被災した二ノ丸西面の石垣について、崩落する恐れのある石材を解体し仮置きする工事。
○契約金額 7,136万円
○契約の相手方
棚倉町大字棚倉字町裏35番地15
株式会社 神林建設棚倉営業所
所長 石井 博行

請願

提出された請願については、総務常任委員会に付託し審議しました。その結果については、本会議において報告されました。



二ノ丸西面の石垣

◆消費税5%への減税を求める意見書の提出について

提出者 事務局 服部 雅
消費税廃止各界連絡会
◎審査結果 不採択
◎不採択理由
消費税減税は物価対策として一定の効果は期待されるも

陳情

◆地方財政の充実、強化を求める意見書提出陳情について

提出者 日本労働組合総連合会福島県連合会東白川地区連合会
議長 菊池 克明

◆インボイス制度廃止をもとめる意見書の提出について

提出者 消費税廃止各界連絡会
◎審査結果 不採択
◎不採択理由
インボイス制度は中小事業所の負担が小さく、事業活動に支障が生じかねない状況は変わっていないとの制度廃止に賛成の討論はあったが、税の公平性の観点や制度として定着しつつある中、廃止することは様々な悪影響が考えられるため。不採択賛成者 10人 反対者 3人

町政を問う

定例会6月会議では9人の議員が登壇し質問を行いました。
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。

1 松本 トク子 議員 …… 8ページ

1. 小・中学校体育館のエアコン設置は
2. 障がい児・者に対する福祉については
3. 平和都市宣言について、町の恒久平和への考えは

2 大竹 盛栄 議員 …… 9ページ

1. 棚倉城跡内堀の水抜きのは考えは
2. スポーツツーリズム推進事業とは
3. 眼科医療機関の町内誘致の考えは

3 割栢 義夫 議員 …… 10ページ

1. 町道路面状況調査の方法は
2. 中山間地域を守る農業政策とは

4 菊池 忠二 議員 …… 11ページ

1. 有償ボランティアの取り組みは
2. ルネサンス棚倉を活用した高齢者福祉の拡充は
3. 八溝山の観光資源としての計画は
4. 小中一貫教育の考えは
5. 棚倉高校跡地利活用の検討は

5 佐川 裕一 議員 …… 12ページ

1. 少子化、人口減少対策は
2. 棚倉駅前整備は
3. 修明高校への対応は

6 藤田 智之 議員 …… 13ページ

1. 小学校の統合計画は
2. 振替休日のごみ収集は
3. スポーツコミッションでの課題解決の取り組みは
4. 生理の貧困への対応は

7 沼野 将美 議員 …… 14ページ

1. 農地集約化を図るための具体策は
2. 農業用排水路の修繕等の支援策は

8 高橋 みゆき 議員 …… 15ページ

1. 耕作放棄地の利活用の考えは
2. 駅前整備に関するJR各社との協議は

9 小沼 勝弘 議員 …… 16ページ

1. こども家庭センターの設置は
2. 学びの多様化学校の現況は
3. 役場窓口対応における住民満足度の向上策は



経営状況報告

町が出資している法人・団体である、株式会社ルネサンス棚倉、一般財団法人棚倉町活性化・観光物産協会、白河地方土地開発公社から、令和6年度における経営状況が報告されました。
なお、株式会社ルネサンス棚倉における経営状況は次のとおりとなっています。

株式会社ルネサンス棚倉

～事業報告書・損益計算書より～

- ◇ **利用料総額**
宿泊、研修室、クアハウス、プールなどの利用者から納入された利用料 **1億3,464万円**
- ◇ **雑収入**
町からの指定管理料 **6,270万円**
- ◇ **町内業者からの仕入れ状況**
食材及び燃料費等 **4,841万円**
- ◇ **開催した主なイベント**
食品加工イベント

◇主な実績 ()内前年比

宿泊延べ人数	18,614人 (789人増)
売上高	1億9,243万円 (936万円増)
当期純損失額	2,084万円 (1,586万円増)
累積赤字額	3億5,464万円 (2,084万円増)

～令和7年度事業計画～

- ・スポーツリゾートとしてのサービスを強化し、快適に滞在していただけるようサービス向上に努める。
- ・ローコスト運営を維持しつつ、旅行会社営業と並行し、独自開催イベントも開催し売上げ増を図る。

数値目標

売上高：3億2,200万円
経常利益：2,600万円
宿泊者数：35,200人

- ・スポーツコミッション事業

スポーツコミッションとは…

地方公共団体、スポーツ団体、観光団体、商工団体、大学、企業等が一体となり、スポーツツーリズムを中心に、スポーツによる地域振興に取り組む組織。
地域スポーツコミッションの主な取り組みとしては、スポーツ合宿やスポーツ大会、イベントの誘致、自主スポーツイベントの開催、健康づくり事業の実施などが挙げられる。



様々な地域課題を解決し、地域への社会効果や経済効果を創出する。

問 小・中学校体育館のエアコン設置は 答 エアコンの設置は検討していない

問 国が令和15年度までの期間で創設した、空調設備整備臨時特例交付金の活用は。
教育長 エアコンの設置は検討していないが、交付金創設がエアコンの必要性について検討するきっかけにはなる。
今年度、児童・生徒の暑さ対策として、各学校に冷風機1台を設置。



杜川小学校体育館

問 特例交付金の活用は、やらない理由がないと思えるが。
町長 小学校に関しては、少子化に伴う児童数減少によって統合を検討中であり、どのような形に変わるか検討されている状況。まずは冷風機で対応し、早めに新しい施設というものを考えていく。

問 障がい児・者に対する福祉については
答 障がいがある方もない方も、福祉を必要とする方々を社会全体で支える

問 医療的ケア児が幼稚園へ通園するための進捗状況は。
教育長 受入れのためのガイドライン作成、個別支援マニュアル作成を進めながら、職員の研修や見学、体験入園なども行い、おおむね順調に進捗している。



ドリーム&ホープ

問 ドリーム&ホープ撤退後の町の対応は。
町長 来月からは塙町の新施設で事業を実施し、本町の利用者に対しても送迎を行うとのこと。現在の利用者が、引き続き充実したサービスが受けられるよう運営団体と連携を図っていく。

問 障がい児・者グループホーム設立の考えは。
町長 民間福祉団体などが専門性や柔軟性を生かしたグループホームの設立、運営に取り組んでいただきたい。

問 平和都市宣言について、町の恒久平和への考えは
答 本町の行政運営は日本国憲法を尊重し、日々の行政運営自体が平和の取り組みにつながる

問 本町における平和への取り組みは。
町長 憲法で掲げる恒久の平和を願いながら行政を執行していることから、日々の行政運営自体が平和の取り組みにつながるものと考えている。

問 町として平和都市宣言に取り組む考えは。
町長 昭和61年3月に本町議会において、核兵器廃絶に関する決議が可決され、さらには、平成24年12月に平和首長会議に加盟している。改めて平和都市を宣言する考えはない。



まつもと トク子

問 棚倉城跡内堀の水抜き 答 レガシーとして水抜きを実施したい

問 棚倉城跡の植生管理計画は。
教育長 棚倉城跡整備基本計画の中で、管理方針・方法を定めている。

問 城跡内トイレ等施設の今後は。
町長 建築から25年経過しているので、必要に応じ改修等を行う。

問 土壁の保護と崩された土壁復元の考えは。
教育長 樹木の生長や地震、大雨又は事故による変形毀損が認められれば現状復旧を行う。
復元については石垣修復工事完了後に検討する。

問 長久寺に移築された南門復元の考えは。
教育長 復元は難しいが、棚倉城唯一の建造物で重要な文化財と認識している。



復活・出世のパワースポット！
アガる城棚倉城築城400年

築城400年の棚倉城跡

問 城跡内堀の維持管理は。
町長 年間を通して水位の管理や、水面に浮かぶごみや落ち葉の除去など定期的に清掃を実施している。

問 記念の年に内堀全部の水を抜く考えは。
町長 築城400年事業のレガシーとして、水抜きはお堀の水環境の浄化と、棚倉城に愛着を持つて次世代に繋ぐ、さらには観光誘客に繋がるイベントとして実施したい。

問 スポーツツーリズム推進事業とは
答 新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し事業を展開

問 他市町村と事業連携は可能か。
町長 町内だけでなく他市町村や関係機関との連携は可能と認識。

問 ルネサンス棚倉及び町総合体育館整備の考えは。
町長 新しい地方経済・生活環境創生交付金はソフト・ハードの一体的な活用もできるので、要件に合致すれば対応は可能と考える。

問 スポーツツーリズムでルネサンス棚倉に合宿を呼ぶため、総合体育館にエアコンを設置すべきでは。
町長 前向きに検討する。

問 補助期間終了後、自走する条件は。
町長 KPIの設定が義務、目標達成を検証しあり方を検討する。



おお たけ もり えい
大竹 盛栄

問 眼科医療機関の町内誘致の考えは
答 関係機関との連携を一層強化する

問 町民の眼科の医療体制をどう認識しているのか。
町長 近隣町村で受診している状況であり、身近な地域で眼科診療を受けられる、医療体制の確保が必要と認識している。

問 関係機関との連携とは。
副町長 福島県立医科大学の眼科学講座で、本町の状況を説明し、PRしている。



問 町道路面状況調査の方法は 答 道路パトロール等で損傷箇所を確認

問 町道の整備及び維持管理は。
町長 道路パトロールにより確認し、維持・修繕等を実施。大規模修繕が必要となる路線把握は、専門業者による路面性状調査を実施している。

問 法令改正に伴う橋りょうの点検状況は。
町長 平成28年度と令和3年度に点検を実施。結果に基づき、維持・修繕などに取り組んでいる。

問 道路里親制度の取り組みは。
町長 新規事業として、地域の協力を得ながら、町と協定を結び、町道の環境美化活動を行う団体等に、除草用具などを支援する事業である。

問 交通安全プログラムによる要望箇所への取り組みは。
整備課長 交通安全プログラムについては、毎年、教育委員会が



整備が終了した橋

主体となり関係機関と危険箇所について、合同点検を実施しており、費用がかかる部分は社会資本整備交付金事業等を活用しながら振興計画の中で検討し、実施している。
緊急箇所については、早急に対応をしている。

問 中山間地域を守る農業政策とは
答 所有者や地域の方々が主体的に取り組むことが不可欠である

問 地域計画策定後の取り組みは。
町長 農地維持のためには所有者や地域の農業者が主体的に取り組むことが不可欠である。制度改正への対応や有利な制度等の動向について注視し、支援していく。

問 相続土地帰属制度の問合せの把握は。
町長 問合せの数の把握はしていないが、年に数回、農地や山林などの買取りについての相談等がある。

問 耕作放棄地の草刈りに対する補助支援は。
町長 多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金を活



耕作放棄地・農地の荒廃が進む

用し、地域ぐるみで対応していただきたい。

問 生分解性マルチ導入の補助支援は。
町長 補助制度は設けてない。購入時の価格が高いが、回収作業、処分費がかからない分、ほぼ同額になる試算がある。環境に配慮した取り組みは、一般生活や各種生産活動にも必要不可欠と考えている。

関係機関と連携し啓発等を行うっていく。



わりがや よしお 割栢 義夫

問 有償ボランティアの取り組みは 答 たなちゃんお助け隊事業を実施

問 有償ボランティアの実績は。
町長 令和5年度から支援対象者に買い物や調理などの生活支援サービスを行っており、令和6年度の実績は、お助け隊員18人が延べ1260回の活動を実施。

問 新しい教育を受けた世代に相応しい地域コミュニティを創造すべきだが、時代を繋ぐ方法として有償ボランティアは有効であるが拡大の考えは。
町長 有償とボランティアを上手くミックスさせ、多面的機能支払交付金制度などを良い例として取り組んでいきたい。

問 ルネサンス棚倉を活用した高齢者福祉の拡充は
答 介護予防教室を実施している

問 高齢者の利用料金割引事業が必要では。
答 現在も条例に基づき1割以上減額、また、スポーツジム月額料金を60歳以上に割引価格を設定。

町長 現在も条例に基づき1割以上減額、また、スポーツジム月額料金を60歳以上に割引価格を設定。

問 白河市にある緑フィットネス希望を参考にした介護予防運動機能向上通所型サービス指定事業所など、固定的に収入の上がる事業の検討は。
産業振興課長 器具の購入などの負担もあることから、指定管理者の判断となる。

問 ルネサンス棚倉ファンクラブの検討は。
町長 高齢者の皆さんにも足を運んでもらえる様な取り組みを検討していく。

問 八溝山の観光資源としての計画は
答 一般財団法人棚倉町活性化・観光物産協会等と連携し検討

問 護摩壇を経由するハイキングコースの整備は。
町長 現在ハイキングコースの整備計画はないが、案内板の更新を検討。



八溝山頂上は棚倉町

問 渓流を生かした観光の取り組みは。
町長 県道八溝山線を利用した八溝渓谷ハイキングコースを県と連携しながら情報発信に努める。

問 頂上の国有林払い下げは考えられないか。
地域創生課長 賃貸契約は可能。

問 会津白虎隊の様な悲劇として、天狗党の所説を八溝山の観光資源に取り入れては。
地域創生課長 色々な角度から検証すべき。



みくち ちゅうじ 菊池 忠二

問 小中一貫教育の考えは
答 棚倉町立学校統合準備委員会や棚倉町立学校統合準備庁内検討委員会で協議

問 棚倉高校跡地利活用の検討は
答 教育施設が有力な候補



統合小学校有力候補の棚倉高校跡地

問 少子化、人口減少対策は 答 様々な分野で各種施策を展開

問 子ども子育て支援事業の内容は。

町長 子育て世代包括支援センターによる支援から、キャリア教育の推進まで、包括的な子育て支援事業をはじめ今年度から、新たに出生児一人当たり10万円を支給する「すこやか赤ちゃん応援事業」や、子ども達が次のステージに進む節目に支給する「ステップアップ応援金支給事業」を実施。

問 地元企業に対し雇用の働きかけは。

町長 企業訪問の際に各種補助事業の情報提供を行っている。また、今年2月に、町内の各産業の関係者が一堂に会した「産業振興関係者懇談会」を開催し、今秋にも開催を予定。

問 Uターン者等に対する支援は。

町長 町内に居住し、奨学金を返還している方を支援する「棚倉町奨学金返還支援事業補助金」や、

東京圏から移住した方に対する「わくわく地方生活実現支援事業」等により支援。

問 県のふくしま創生総合戦略や子どもまんなかプランの効果は。

町長 町単独では取り組みがたい事業などを広域的に連携しながら事業展開していけるものご期待。

問 今後考えている施策は。

町長 今年度、少子化対策及び移住定住支援などを目的に、6つの事業を新たに開始。これらの事業の効果を検証し、より効果的な施策及び事業について、調査研究していく。

問 棚倉駅前整備は

答 重要な課題であると考える

問 棚倉駅前整備の考えは。

町長 周辺の土地利用や各種計画等との整合性を図りながら、十分検討して進めていく。

なお、磐城棚倉駅については、JR東日本水郡線統括センターにおいて、棚倉城築城400年を記念し、駅舎外壁をお城風に塗装するなどの一部改修を予定。



磐城棚倉駅

問 修明高校への対応は

答 連携を強化し積極的に支援

問 修明高校の存続に向けた町の対応は。

町長 町と高校との連携をさらに強化しながら、児童・生徒に向け魅力ある学校づくりを目指すため、出来る限り積極的に支援していく。

問 生徒数減少が公共交通機関の存続へも繋がるため、町も高校と連携し、生徒数増に協力すべきでは。

町長 修明高校の魅力発信するため、高校と連携しながら、生徒数増加に向けて、可能な限り支援していく。



修明高校



さ かわ ゆう いち
佐川 裕一

問 小学校の統合計画は

答 新校舎建設を軸に検討

問 小学校統合の計画とスケジュールは。

教育長 既存の校舎は建築から年数がたっている学校が多く、場所も含め新校舎の建設を軸に役場内や有識者の準備委員会等で協議を進めていく。

問 義務教育学校や小中一貫校、廃校利用の検討は。

教育長 新校舎建設の場合、事業費の2分の1が国からの支援。廃校利用、義務教育学校や小中一貫校の検討も今後準備委員会等の中で進める。

問 新校舎建設の計画で棚倉高校跡地の取得の状況は。

町長 土地の購入や事業費の補助は県との交渉になる見込み。

問 準備委員会等の議論と同時に、並行で具体的な計画を進めては。

町長 基本的なスタンス、方向性は町が示し、小中一貫等も早め

に決定し進めていく。



棚倉高校跡地

問 振替休日のごみ収集は

答 特別収集日で一部対応

問 月曜日収集地域の振替休日で収集が減ることへの対応や危険なごみへの対応などは。

町長 月曜日収集地域の収集が大幅に少なくなることへの対応は、燃えるごみは気温が高い夏季期間は腐敗の進行が早くなるため、今年度から新たに7月から10

問 長い蛍光灯の処分は。

住民課長 新聞紙等で包めば、ごみ袋からはみ出しても良い。



危険なりチウムイオン電池

問 スポーツコミッションの課題解決の取り組みは

答 今後の会議で検討、決定

問 地域課題の解決のためにスポーツコミッションの活用は。部活動の地域移行、ゴルフ場の存続等への取り組みは。

町長 部活動の地域移行への活用はスポーツコミッションには棚倉町教育委員会、総合型スポーツクラブ棚倉ポも構成団体なので課題解決に連携を図っていきたい。

ゴルフ場の存続等への対応は構成団体である棚倉開発株式会社と連携し、進めていきたい。

具体的な事業内容は、今後の会議で検討、決定していく。

問 生理の貧困への対応は

答 施設での配置など必要な方に配布を行っている



ふじ た とも ゆき
藤田 智之

問 農地集約化を図るための具体策は 答 農地中間管理機構と連携して対応

問 地域計画における農用地面積及び後継者不在の農地面積は。
町長 町全体の農用地面積が1,340ha。後継者不在の農地面積が362.7ha。

問 農地中間管理機構が行う農地バンクの周知方法は。
産業振興課長 資料配布やJAでの周知、さらに町の広報誌や農業委員を通じて周知するなど強化していく。

問 農地集約する際の受託者への支援は。
町長 農地貸付希望者をリスト化し、規模拡大等の相談の際に情報提供している。また、田の畦畔除去等による集積促進として、国の補助制度が創設されている。

問 地域計画で離農意向のある農地を使った、町の推奨商品づくり・町おこし等の考えは。
産業振興課長 今後検討しな



規模縮小等により荒れている農地

ればいけない課題であるが、現時点ですぐにやるとい状況ではない。

問 後継者のいない農地の区画整理の考えは。
町長 区画整理は原則として、農業者の同意と申請から始まるため、行政が個人の農地に手を付けることはない。

区画整理後の利用について不透明なことを考えれば後継者のいない農地の区画整理を行うことはない。

問 農業用排水路の修繕等の支援策は。
答 砕石・生コン・側溝などの原材料を支給

問 農業用排水路の修繕等に関する相談件数、支援実績は。
町長 「中山間地域等直接支払制度」や「多面的機能支払交付金を活用している地区を除いて、昨年は0件、令和5年度に2件の相談及び支援の実績がある。

なお、支援時に受益者より修繕費の一部を分担金として徴収している。

問 町独自の支援策として、技術者の派遣などの検討は。
整備課長 業者に委託・工事の発注という形態をとっているの

で、派遣だけというのは今のところは考えていない。



沼野 将美



老朽化により補修が必要な用水路

問 農業用排水路の維持修繕に伴う重機の貸し出しの考えは。
町長 町独自の貸し出しは行っていない。「中山間地域等直接支払交付金」や「多面的機能支払交付金」において対応可能である。

問 農業用排水路に関して、整備課及び産業振興課にまたがる組織体制を取りまとめるは。
総務課長 組織の見直しを検討していきたいと思う。



高橋 みゆき

問 イベント等開催の考えは。
町長 現時点では予定してないが、観光案内所等も開設しているので、積極的に活用したい団体等があれば連携を図りながら協力していきたいと考えている。



磐城棚倉駅

1カ所、設置されている。

問 耕作放棄地解消のために消費者目線での考えは。
町長 行政が取り組むことも一つの方法だが、まず、消費者や民間からの提案について、町が支援を検討。

※市民農園とは
住民がレクリエーションや食育、健康増進などを目的として、小面積の農地を借りて野菜や花などを栽培する場所。



問 耕作放棄地の利活用の考えは 答 民間での利活用について支援を検討

問 市民農園等への利活用の考えは。
町長 本町の耕作放棄地を活用する場合、設置場所や駐車場、トイレ、有害鳥獣などによる被害等、対応すべき課題が多く、多額の費用が見込まれることや、現時点では要望等もないことから市民農園の設置は難しい。

問 現在の耕作放棄地の面積は。
産業振興課長 耕作放棄地等は全体では約341haである。

問 耕作放棄地になってから何年間でいったら利活用できるといふ年数の基準はあるか。
産業振興課長 耕作放棄地の状態にもより、何年ぐらいでという基準はない。

問 近隣市町村で市民農園等に利活用している事例はあるか。
産業振興課長 約10市町村が取り組んでいる。近隣では白河市に

問 築城400年イベントを記念し、JR東日本で駅舎の外壁塗装を予定しているということだが、ほかに整備等の考えはあるか。
産業振興課長 特に現時点でそのほかの整備というのは予定してない。

問 子育て世代包括支援センターの設置は令和8年度を予定

問 こども家庭センター設置の意向はあるか、設置する場合の時期は。

町長 第7次棚倉町振興計画に基づき、令和8年度に設置を予定している。

問 母体となる、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の現在の活動状況は。

町長 子育て世代包括支援センター事業では、保健師が妊産婦や乳幼児の実態把握、育児等の相談受付などを実施し、子ども家庭総合支援拠点事業では、子育て家庭や要保護児童等への支援などを実施している。



保健福祉センター内
子育て世代包括支援センター

問 設置に向けた課題は。

町長 設置には専門的な知識や経験等を有する職員が必要なため、人材の確保が課題である。

問 学びの多様な学校の現況は

答 笑顔の多い学校生活を過ごしている

問 通学生徒の学校生活の様子は。

教育長 通学生徒は、分教室の日課に沿ってのびのびと生活している。

また、生徒同士の交流や分教室教員とのふれあいにより、人間関係も深まっている。

問 今後、改善すべき課題の有無は。

教育長 分教室開室の効果を感じており、今後課題が確認された場合には、丁寧に対応していく。

問 開校後の反響は。

教育長 町内外から、保護者や教育関係者など、多くの問い合わせや視察依頼がある。



棚倉中学校分教室入口

問 役場窓口対応における住民満足度の向上策は

答 OJTや自己学習などにより個々のスキルアップを図っている

問 住民満足度の向上に向けた教育実施計画は。

町長 棚倉町職員人材育成基本方針に基づき、業務に関する専門性を有することを目的として、個々のスキルアップを図っている。

問 窓口サービスの業務品質向上策は。

町長 棚倉町接遇マニュアルに基づき、職員研修会の開催など、接遇のレベルや質の向上に努めている。

問 苦情やクレーム発生時の対応策は。

町長 話を十分に聞き、トラブルの原因や事実関係を確かめ、丁寧に事情を説明し、一刻も早く対処することとしている。

問 住民満足度に対する今後の取り組みは。

町長 行政がいかに住民にサービスするか、顧客を満足させるかが大切であり、窓口の対応一つで町の評価が変わると確信している。

棚倉町に住んでよかった、住み続けたいと思っていただけのような接遇、満足度を高めていきたい。



こぬま かつひろ
小沼 勝弘

5月第1回会議

5月第1回会議は、5月12日に開かれ、会議では補正予算の議案などを慎重に審議し、すべて原案のとおり全会一致で可決しました。

補正予算

◆一般会計

5,850万円増額

◎補正の内容

新しい地方経済・生活環境創生交付金事業費用。
ルネサンス棚倉を拠点として、スポーツ・コミッションを創設し、スポーツツーリズムを推進するための事業。

専決処分の報告

◆一般会計補正予算

事務事業等の確定に伴う補正で、配当割交付金などの交付金や地方交付税等の増額補正。

◆国民健康保険特別会計補正予算

歳入については、国保基金繰入金、歳出については、療養給付費等の増額補正。

◆後期高齢医療特別会計補正予算

歳入については、保険料収入の確定、歳出については、後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正。

◆棚倉町税条例の一部を改正する条例

地方税等の一部を改正する法律等が令和7年3月31日に公布されたことに伴う、個人町民税の特定親族特別控除創設などの所定の改正。

◆棚倉町上水道給水条例の一部を改正する条例

建設業法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、条ずれが生じたための所定の改正。



6月第1回会議

6月第1回会議は、6月30日に開かれました。

会議では、経年劣化により舞台吊物及び電動昇降機器等を更新するための工事請負契約締結の議案が提出され、原案のとおり全会一致で可決しました。

福島県町村議会広報研修会



7月1日、ビッグパレットふくしまを会場に、福島県町村議会議長会主催で開催されました。議会だよりの広報力を高めるため、全委員が参加し編集方法などについて研修を受けました。

議員活動報告

◆棚倉町文化センターホール舞台機構改修工事請負契約締結

○契約金額

1億7,270万円

○契約の相手方

宮城県仙台市泉区八乙女4丁目9番13号
株式会社サンケン・エンジニアリング仙台営業所
所長 尾場 勝男

言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

新町にお住まいの
福井 宏道さん



私は今から11年前に棚倉町にご縁を頂き、京都から引っ越してきました。引っ越してきてすぐ「棚倉町は京都会議（小京都）に加盟している」ということを知り、こっぴく京都と縁があるなと思いました。しかし、待って暮らせと京都を感じられる様子はなく、町並みも城を中心としたまちづくりやランドクした道など「城下」を感じることが多かった。また歴代の城主からも江戸の寺社奉行や老中を輩出している。これならいつその事、江戸時代の城下として「江戸城下」を売り出した方が特色を出せるのではと思います。

棚倉町でも棚倉町活性化・観光物産協会が新設され、ますます観光業にも注力されるかと思えます。棚倉町には他所にはない誇れる物が多くあります。議員の方々をはじめ、棚倉町にはもともと「棚倉の良さ」をアピールできる施策を期待します。

下山本にお住まいの
後藤 裕真さん



今年には棚倉城築城400年の記念の年と聞いています。秋にはイベントや記念式典、講演会など様々な催し物が予定されており、大変楽しみにしているところです。私も代表を務めているまちづくり団体の活動を通じ、棚倉城跡を会場とするマルシェイベントを毎年開催していますが、やはり地域の賑わいこそ地域の宝であると感じています。

来年は県全域で大型観光キャンペーンの「くらしプラスティーションキャンペーン」が実施されます。約10年ぶりとなる同キャンペーンですが、今回も魅力あるイベントの発信や新商品の開発など、県内各地の地域資源の掘り起こしが期待されます。議員の皆様にもこういった地域活性の機運、潮流を議会運営を通じて継続的に議論して頂けたら幸いです。棚倉町の更なる発展を願うとともに、皆様への心よりのご期待を申し上げます。

議会を傍聴しませんか



傍聴の手続きは役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書きだけで、どなたでも傍聴できます。

定例会9月会議日程のお知らせ(予定) ※正式日程は、9月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

- 9月9日(火) 本会議
- 10日(水)・11日(木) 一般質問
- 12日(金) 決算特別委員会・本会議

編集後記

暑い日が続きましたが皆さん、体調はいかがでしたでしょうか。残暑が長引き、寒暖の差が激しい日が続く少しく続く模様です。体調管理には十分お気を付けください。今年度は棚倉城築城400年の節目の年です。各種記念事業が後半に向けて多く予定されています。町民皆様方多くの参加で盛り上げて頂き、棚倉町の活性化にご協力お願いします。

お盆が過ぎると収穫の秋を迎えます。稲作農家においては昨年同様の収穫が期待されます。稲作農家・消費者にとって安定した米価が期待されるころです。

食欲の秋に向かって体調を整え美味しく頂ける準備をしたいと思います。

割栢 義夫

広報編集常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 佐川 裕一 |
| 副委員長 | 和知 裕喜 |
| 委員 | 沼野 将美 |
| 委員 | 高橋 みゆき |
| 委員 | 割栢 義夫 |